

思おもう壺かめ

鯉江良二展



焼×2個の壺 1995年 根羽(長野)

2008年 4月1日 火 - 6月30日 月

開館時間：午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで) 会期中無休
[入場料]＝一般1,000円(4枚セット券3,000円)、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料
作者による列品解説：5月11日(日)14時～／6月8日(日)14時～
4月4日(金)～4月27日(日)は第5室「萬古の名陶」はお休みさせていただきます。悪しからず御了承下さい。

財団法人岡田文化財団



paramitamuseum

おもう壺

鯉江良二展

鯉江良二は1938(昭和13)年、焼物の産地である愛知県常滑市に生まれました。1957(昭和32)年、県立常滑高校窯業科を卒業と同時に、地元のタイルブロック社に入社して実用陶器の世界に身をおきますが、1962年(昭和37)年には再び常滑市立陶芸研究所に入所して、陶芸の研究に励みました。同時に同年「現代日本陶芸展」に入選、翌年からは「朝日陶芸展」「日本現代工芸美術展」など名だたる公募展に出品を重ね、陶芸家としての発表活動を始めました。

以後の鯉江はアメリカでのワークショップに代表されるように、文字通り世界的な活躍を見せ、現代陶芸を通じて「社会へのメッセージ」を発信し続けています。また、1989(平成元)年、常滑から設楽町にアトリエを移したのち、現在の岐阜県上矢作での制作にいたるまで、それぞれの地元の風土と一体となった作品造りに励んでいます。

今回は、アメリカでの制作を含む各地での鯉江良二の足跡をたどるとともに、パラミタミュージアムの会場を使って、最新作の壺100個を使った表現を展開します。鯉江良二のエネルギーに満ちた陶芸世界をお楽しみください。

鯉江良二 略歴

- 1938 愛知県常滑市に生まれる
- 1957 県立常滑高校窯業科卒業
- 1962 常滑市立陶芸研究所に入所
- 現代日本陶芸展入選
- 1963 朝日陶芸展入選(69年まで毎年)
- 日本現代工芸美術展入選
- 1966 陶芸家として独立
- 1972 第3回パロニス国際陶芸展(エントナーレ展) 国際名誉大賞受賞
- 1977 「現代美術の鳥瞰展」出品(京都国立近代美術館)
- 1986 「日本の前衛1910-1970」出品(ポムドトーセンター パリ)
- 1989 愛知県立芸術大学助教授就任
常滑から設楽にアトリエを移す
- 1992 ウェストミシガン大学にてワークショップ(アメリカ ミシガン州 カラマズー)
- 1993 日本陶磁協会賞受賞
- 1994 「国際現代陶芸展」今日のつつわと造形」出品(愛知県陶磁資料館)
- 1996 「鯉江良二展(地ノ人)」(岐阜県美術館)
- 「今日の日本美術展II」出品(ルフィーン・タマヨ美術館 メキシコ)
- 2001 織部賞受賞
- 2003 「織部 転換期の日本美術」出品(メトロポリタン美術館 ニューヨーク)
- 2005 中日文化賞受賞
- 2006 「Sealing God's Fire」(亞洲美術館 大田 韓国)
- 2008 日本陶磁協会賞金賞受賞



米茶盃(緑釉) 1992年 カラマズー(アメリカ)



引出黒筒茶盃 1997年 上矢作(岐阜)



志野耳付水指 1997年 上矢作(岐阜)



織部花入 1991年 設楽(愛知)



白磁レコード盤 2001年 上矢作(岐阜)



交通機関

- 自動車 東名阪「四日市IC」より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km 無料駐車場(普通車100台、大型バス駐車可)
- 電車 近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m、477号線沿い北側

全館バリアフリー対応、常備車椅子4台

財団法人岡田文化財団 ●●●●● paramitamuseum

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com E-mail=office@paramitamuseum.com MAPCODE 566359095